

原子力発電所周辺地域における防災対策の充実・強化

平成28年度第2次補正予算
一般会計
100億円

事業の背景・内容

○事業の背景と必要性

原子力発電所周辺地域の要配慮者等の一時的な屋内退避場所を確保するため、病院等の施設に放射線防護対策を行います。さらに、万一の原子力災害時における避難経路の交通阻害要因の改善を図るべく、避難経路の状況等の調査研究を行います。

○事業の内容・実施項目

I 原子力緊急事態において、即時避難が困難な病院等の要配慮者及び住民等が屋内退避するための施設等の放射線防護対策事業を支援します。あわせて、屋内退避の実施に必要な資機材の整備及び物資の備蓄を支援します。

- ① 概ね10km圏内の要配慮者等の屋内退避施設等への放射線防護対策
- ② UPZ圏内の原子力災害対策拠点病院や孤立化のおそれのある屋内退避施設の放射線防護対策
- ③ 代替オフサイトセンターへの機能強化（非常用発電設備の整備等）

II 避難計画で位置付けられている避難経路について交通シミュレーションや避難経路の実態調査等を実施し、計画の実効性を検証するとともに、避難時の交通渋滞地点などの課題を特定し、その改善につなげるための調査研究等を実施します。

事業のスキーム

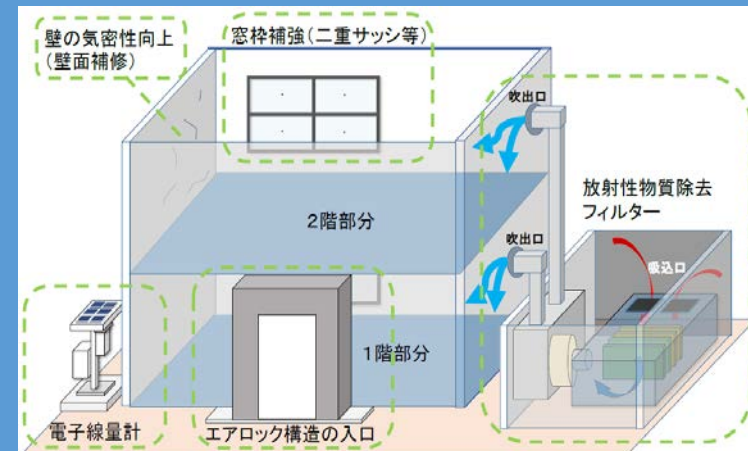
国

定額補助

立地道県等

事業のイメージ

I 「放射線防護対策」のイメージ



II 「避難経路の阻害要因の調査研究」のイメージ



交通シミュレーションや避難経路の実態調査等を実施し、結果を関係する省庁や自治体に共有することで、解決策の検討につなげる。